

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 八百津高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和5年10月23日(月) 15:00~16:20
- 3 開催場所 八百津高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	渡辺 隆正	八百津中学校長
副会長	山口 茂義	錦津コミュニティセンター館長
委員	千葉 智治	錦津小学校長
	松田 義彦	八百津東部中学校長
	武市 由紀子	八百津町教育相談アドバイザー
	林 善次	同窓会長
	安藤 勉	PTA会長
	伊藤 里江	同窓生(八百津町役場職員)

  

学校側	岩島 章雄	校長
	浅見 和人	教頭
	兼松 義治	教務主任
	井戸 礼子	生徒指導主事
	吉井 賢吉	進路指導主事
	貝川 友子	記録係

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (2) 学校評価アンケートの結果について

意見1: 生徒による評価アンケートの体罰についての回答結果が気になる。学校として、どのように分析をしているか。

⇒いくつか要因が考えられる。ひとつはアンケートの質問が正しく理解されていない可能性がある。また、体育館などで大きな声で注意されたことを体罰ととらえているかもしれない。すべてを把握しているわけではないが、職員には周知徹底をしている。

意見2: 保護者アンケートの回答率が低くなったことについては、どのように考えているか。

⇒前年度と同様に保護者懇談において、担任から依頼をする形式で実施した。来年度は、懇談の際に学校でできる限り Forms に回答していただく形で実施したい。

#### (3) その他

意見1: 学校が落ち着いていても、さらに教育改革がすすめられている。成績優秀賞や善行賞は、自己肯定感を育てることに繋がり素晴らしい取り組みである。修学旅行の見

直しなども、今の状態に満足することなく生徒のために着実に進められおり、リクエストボックスの設置についても、自主性を高めるにはよい取り組みである。一ヶ月で10件ほどのリクエストがあるということは志が高い生徒がいるということであり、その自主性を大切にすると良い。

意見2：就職希望者の内定率100%を継続されていて素晴らしい。

又、きらり館は小中学生の利用が多い状況である。11月16日には、高齢の方対象の「きらりカフェ」に八百津高生が参加する。今後も公民館を利用した事業を増やしていただけるとありがたい。地域づくりを大切にしたいので、来年度の活動計画においても八百津高生のボランティアに期待したい。

意見3：自転車を運転する際のヘルメット着用は努力義務であるが、高校生にとってもヘアースタイルや見た目、優先順位が低いと思われる。しかし、命を守るものなので、日本全体ですすめていくとよいと思う。八百津町通りでみかける生徒は、昔と比べると落ち着いており、今後も引き続き指導を期待したい。

## 6 会議のまとめ

- ・示唆に富んだ、温かい意見を多数得られた。今年度の現在までの取組について理解が得られたので、年度末に向けての取組についても職員で共有し、よりよい学校運営に尽力していく。